

東京オリンピック・パラリンピックに向けた平成 29 年度の取組について

取組の
方向性

- 2020 年の東京大会開催に向けて、事前キャンプの受入れ準備をはじめ、スポーツ・文化芸術の振興や、「心のバリアフリー」の推進など、大会を契機として本市への愛着を育み、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながる取組を推進する。
- 「かわさきパラムーブメント」は、東京大会終了後も取組を継続していく社会変革につながるムーブメントであることから、その理念や考え方の浸透に向けた取組を重点的に進める。

平成 29 年度予算案における
かわさきパラムーブメントの主な取組

●多様な主体の連携による推進

「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」に基づいた各種プロジェクトの拡充・新規展開を図るほか、かわさきパラムーブメント推進フォーラムを運営します。

予算案額

59,809 千円
(+9,809 千円)

●理念の浸透に向けた事業展開

戦略的な広報やイベント等の実施を通じて、「かわさきパラムーブメント」の考え方を広く市民や事業者に向けて発信し、多様な主体の参加を得ながら取組を進めていきます。

●第2期かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定

30・31 年度を「大会を成功させる取組期間」とする第2期推進ビジョンを策定します。

●JOC(日本オリンピック委員会)パートナー都市関連事業

JOCとのパートナー都市協定に基づき、オリンピックの価値などを子ども達に伝えるオリンピック教室等を開催します。

●事前キャンプ受入れ準備やホストタウンの取組の推進

英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプの受入れに的確に対応するため、実施競技や交流事業の調整、関係機関との協議等を行います。また、英国を相手国とするホストタウンの取組を進め、東京大会への機運醸成や、英国との交流、さらには事前キャンプの受入れを契機とした交流の絆づくりを進めます。



陸上競技の事前キャンプ地となる予定の等々力陸上競技場

上記のほかにも、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、

◎障害者スポーツの体験などによる障害者スポーツの普及促進(拡充)(12,481 千円)

◎誰もが暮らしやすいまちづくりに向けた文化芸術に親しめる環境づくり

(パラアート推進事業)の推進(新規)(7,843 千円)

などに取り組むことで、「かわさきパラムーブメント」を展開していきます。

取組の具体的な内容

●「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」に基づいた取組の拡充

川崎から新しい取組を発信する「川崎モデル」となるよう、リーディングプロジェクト等の取組を拡充する。

【具体的な取組内容】

- ・市内小中学校における障害者スポーツ体験講座(拡充)やオリンピック・パラリンピック派遣(新規)の実施
- ・小杉駅、川崎駅周辺のバリアフリー調査の実施及びバリアに関する情報発信のあり方検討(新規)
- ・市内宿泊施設や飲食店のバリアフリー化促進に向けた検討(継続)
- ・アール・ブリュット支援の取組(新規)

●かわさきパラムーブメントの理念浸透に向けたプロモーション活動

かわさきパラムーブメント特設サイトを通じた情報発信や、今後作成予定の広報用映像等の活用を通じて、パラムーブメント推進ビジョンの取組期間である 2021 年までの戦略的な広報に段階的に取り組む。

●第2期かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定

数値目標の設定によるレガシー形成の「見える化」や、パラムーブメント推進フォーラム開催やパブリックコメント手続などを通じた意見を参考としながら策定作業を進める。

●JOC(日本オリンピック委員会)と連携した取組

【具体的な取組内容】

- ・JOCとの共催による「スポーツと環境・地域セミナー」の開催や市内中学校におけるオリンピック教室の開催

●ホストタウンの取組の推進

ブリティッシュ・カウンシルや英国大使館など英国関係機関と連携した取組を実施する。

●障害者スポーツの普及促進に向けた取組

【具体的な取組内容】

- ・各区スポーツセンターにおける「障害者スポーツデー」の開始(新規)
- ・障害者スポーツ備品(競技用車椅子)の購入(新規)
- ・本市スポーツ事業の一元化(障害者スポーツ関連事業を健康福祉局から市民文化局へ業務移管)

●パラアートの推進

障害のある方もない方も一緒に文化芸術活動に携われる環境づくり、観賞できる環境づくりを進めるとともに、東京大会に向けた文化プログラムを展開する。

【具体的な取組内容】

- ・障害者等の文化芸術活動を促進する環境や体制(パラアート・プラットフォーム)を構築するための準備会議の開催、展覧会等のモデル事業の実施(新規)